

## DEADLOCK

- 0 1 FACE THE MUSIC
- 0 2 Vanish Into Smoke
- 0 3 コッツウォルズ
- 0 4 身動きできない
- 0 5 泡の日々
- 0 6 Enemies
- 0 7 新しい朝
- 0 8 APRIL
- 0 9 ヴェローナ
- 1 0 Gimme
- 1 1 Marvelous
- 1 2 ウィスタリア
- 1 3 mew

FACE THE MUSIC

溢れ出す陽射がアスファルトを染める  
彼女の髪を透き通り窓辺へ伝っていた

何もないふたりは優しさに焦がれてく  
冷たい街で息をする身体を奪っていた

そこまで行けるか  
僕等は砕け散る青のように  
このまま溶けよう世界を塗り潰せ

部屋の壁の模様やマフラーの巻き方が  
細長い指の匂いと全てが混ざっていた

## Vanish Into Smoke

這い回って視界が 空に卷いた水滴が  
冬の匂いがしていた 12月の木曜日  
燃やすような熱もなく 混ざり合うこともできずに  
夢 理想像 白昼夢 そこに在る無意識とは

愛を売ってしまえば 胸に刺した痛みが  
別にどうしても良いけどさ そんなこと言われたって  
何かをやり直すには 時間がいつも過ぎていた  
夢 理想像 白昼夢 そこに在る無意識とは

何を知って生きている 誰を信じて生きている  
そんなもんで真実を濁らせてしまうのか

灰になって  
意味のない生活を繰り返す日々に花束を  
幸せになって  
意味のない生活を繰り返す日々に花束を

コッツウォルズ

羊の群れが俺の真横を通り過ぎる  
112 匹目でもう数えるのを止めた  
フィルムの中で暮らしたい  
水の青い透明体 浅ましいリズム  
怯えないように

雨に有形を映して 深い斜面の上  
確かめ合おう夢じゃないって  
海で冷凍された愛に 青い屋根の家  
そこには無いと気付いている

俺は既に死体かもしれない

身動きできない

窓に映す背中へ 羽根を開く  
初めての呼吸 鍵を失くした

混ざり合った心臓と 溶けきらない日々  
溢れる青突き刺す声 身体中を蝕むように  
絡み付く全ての痛みを剥がして

浅い海に浸かって溺れないように  
もがいてみたけど沈んでいった  
朝に為るまで 眠れないから

下らない奴に縛られた心 投げ売りで安くなったこの身体  
甘い言葉で連れてかれる子供 汚い姿になると捨てられる

身動きできない

どうして手錠を掛け合いたい  
何処にも逃げられないように  
縛られた全ての痛みを剥がして

## 泡の日々

僕等はこのまま溢れ出した渦に飲み込まれてく  
それさえ溶け切るそんな儚さに触れそうになる

透明な肌に希薄していく  
いつの間にか消えて無くなった  
壊れた日々の傷を埋めてく  
誰の声も聞こえはしなかった

生まれて死ぬまで 理想の確かめ方 わからないから  
胸に咲く花 注ぎ込む青 それは脆くて壊れやすいの

あの日の夢を忘れてしまった  
そんな風には生きていけなくても  
明日がまた来そうな気がしたんだよ

泡になって溶けてしまえば  
記憶を持たなくてもいいのにね

いつもずっと空っぽで何もないまま生きていた

## Enemies

いつもずっと空っぽで何もないまま生きていた  
憂い 夢 柔らかな歌 朝になって薄れてしまう物

透明な声が 突き刺す光が  
渴いた胸を 潤してくれるなら

それが全て敵になるから

どれもきっと無力で役に立てないものだろう  
呼吸 指 見逃した日々 誰にとって身を守る術が

曖昧な傷が 絡まる痛みが  
汚れた肺を 濁らせてしまうなら

それが全て敵になるから

明日が来れば それは味方に なれるだろうか

なれやしないさ

## 新しい朝

灰色の空が街を包み おろしたての靴はすぐ汚れる  
気休めの光 雨宿りして 道を塞ぐものが多すぎる  
こんなはずじゃないんだけどな

新しい朝が迎えに来るよ  
乗り遅れるなよ GET RIDE WITH ME  
どうにでもできる有り余る日々  
限りない青で LOOKOUT FOR YOU

危うい嘘と優しい色が  
眠れない夜をマシにしていく 新しい朝

日の沈み始めたこの街で しとりひたりと雫にうたれる  
天気予報と まどろみの中 生まれた頃を想像している  
こんな所で終わらせない

新しい朝が迎えに来るよ  
乗り遅れるなよ GET RIDE WITH ME  
誰にでもなれる出来過ぎた日々  
揺るぎない歌で LOOKOUT FOR YOU

あざといキスと可愛い色気  
下らない俺をマシにしていく 新しい朝



APRIL

静脈を巡る美しい景色  
青に焦がれて雨の中に  
大切な人や大切な歌は  
淡い記憶に溶けていた

パラダイムの渦  
ありふれた嘘と偽りを

僕等このままくたばっていいように  
フィルムを回した4月のはじめに

微睡の声を輝いた軌跡  
揺れる鼓動は春の朝に  
擦切れた光白日の季節  
甘い匂いに透けていた

吐息とノイズ  
くたびれた夢と願いを

僕等いつでも繋がれるように  
指を這わした4月のはじめに

僕等これから生きられるように  
意味を重ねた4月のはじめに

ヴェローナ

掴み損ねた夢 どうして触れられなかった  
果たせない約束 空はもう潰れそうに低い

止まない雨に打たれながらそれでも  
消えてくれない青く染められた記憶

忘れたふりをしてその胸の中に  
残した匂いヴェローナのように  
間違っていたのか混ざり合う世界は  
いつでもずっとヴェローナのように

身を削り灰になる 揺れているノイズ  
ひび割れたガラス瓶 細い指 白い肌  
あの映画のラストシーン

Gimme

簡単に奪われてしまうよ 簡単に生きられなくたって  
ゼロサムゲームなんだ 目を閉じるな前を向け  
鼓動をもっと早く 燃え尽きて 宙に舞え

今灰になって沈んでいった いつも焦がれて意地汚いな  
愛を知って生き延びたんだ そんなことはどうでも良いさ

いつから知っていたんだ いつから分かっていたんだ

這い回って溺れていった 欲に塗れて薄汚いな  
愛を売って生き延びたんだ そんなことはどうでも良いさ

Marvelous

マーベラスに呼吸が乱れる  
ジーニアスで臆病な未来へ

この胸で 燃えている 枯れた花 揺れている

アノニマスは誰にも知られない  
スーベニアが記憶を浮かび出す

それは簡単なことで いつも単純なもので  
解り切っているのに 手を伸ばしてしまうよ

その指で 愛と憎悪 夢を見る 俺の全て

ウイスタリア

カモミールと柔らかなキャンディ  
アルコールに溶かしておいたから  
ベロニカの名誉 真実は不完全で  
無防備に歩けばフラッと優しさがグッと

朝焼けの焦がれた青

Feel You 淡い夕 そんな声が聞きたくて  
スケートシューズ Highly Evolved  
この夜を越えていこう

Keep You 愛に酔う 夢の続き見せたくて  
スケープゴート Craig Nicholls  
この街を抜け出そうぜ

mew

大抵夜は寄り添い合って  
剥がさないでね 触りたいの 眠りたい  
可愛いリズムで呼吸している  
お腹すいたな 誰か構ってくれないか

夜明けを待つのは得意じゃないけど  
それもいいかな 楽しそうに笑って  
目眩がするほど激しく光ってた  
そんな風にさ 忘れないでいるよ

あるがままの姿形で生きてく術を探している

苦しい時には声を出さないで  
気付かないでね 壊さないで 離したい  
俺は誰に何を言われようとも生き続ける  
生き続けていくよ

あるがままの姿形で生きてく術を探している

永遠なんてある訳もないけど  
それはなんだか 限りない気がしていた  
俺は誰に何を言われようとも生き続ける  
生き続けていくよ

息ををしていたい